

本年は例年より梅雨明けが遅れましたが、夏の暑さが本格化した7月31日(水)、RI第2690地区古瀬俱之ガバナーと森山勝地区副代表幹事を高梁国際ホテルへお迎えし、公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、会長・幹事懇談会が開催され、当クラブからは荻田会長、藤本会長エレクト、福本洋幹事、福本浩副幹事が出席いたしました。会長から本年度のクラブ運営方針、幹事からクラブ概況や事業計画等を説明し、ガバナーから会員増強の必要性と工夫についてなど、具体的に例を挙げて分かり易くご指導をいただきました。また、クラブ奉仕・職業奉仕については自論を交えお話しいただいたことは特に感銘を受けました。

例会では「日本のロータリー100周年を祝う鐘」の点鐘で例会が始まり、特に22年間継続している「カンボジアへの支援事業」に対しては、素晴らしい事業であり、これからも継続していただきたいとお言葉をいただきました。

国際協議会へ参加された話を中心に、RIマローニー会長のテーマ「**ROTARY CONNECTS THE WORLD**」「ロータリーは世界をつなぐ」を付度され「ロータリーは奉仕活動を通して地域をつなぐ」と言われるなど、2690地区の活動についても分かり易くお話しいただきました。クラブ活動計画に関しては短期・中期・長期での計画を立て半期毎にチェックしてほしい等、具体的なご説明もいただきました。

その後に、森山地区副代表幹事より10月20日開催の地区大会について詳しくご案内もいただきました。

高梁ロータリークラブ

幹事 福本 洋之